

教科・科目		教科書
現代の国語		高等学校 新編現代の国語 (第一学習社)
学年	単位数	使用教材
1年(文理・基礎)	2	新編現代の国語 学習課題集 (第一学習社)
科目の概要と目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	

学期	学習内容(単元等)	到達目標
I	「未知」はいくらでもある	・実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。
	ナマケモノになる	・筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。
	言語としてのピクトグラム	・ピクトグラムがもつ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。
	言葉の海のオノマトペ	・音声と意味との関係から、言語一般およびオノマトペの機能的特徴を理解し、音としての言葉への興味を広げる。
	十六歳のとき	・人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを知る。
	話し方の工夫	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。
	待遇表現	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。

学期	学習内容（単元等）	到達目標
2	臆病な詩人、街へ出る	・他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。
	法律の改正に関わる 文章を読み比べる	・改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。
	「弱いロボット」の誕生	・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。
	人はなぜ仕事をするのか	・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。
	論理的な表現	・説得力を意識した表現のしかたについて理解する。
	相手に伝わる案内をする	・目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 ・相手や場の状況を押さえて案内することができる。
	書き方の基礎レッスン	・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。
実用的な手紙文の書き方	・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。	
3	イースター島になぜ森がないのか	・イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。
	「材料科学」のゆくえ	・材料科学の革新が人類の進歩に大きく貢献したことを理解し、本文に示された未来像について関心を深める。
	論理分析【対比】 「間」の感覚	・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。
	合意形成のための話し合いを行う	・話し合いの進め方のルールを理解する。